

## 5. 各極の役割分担(1/4)

参加各極は、役割に応じてISSの構成要素(次ページ参照)及び必要な地上設備を開発・提供し、それを運用する責任を有する。

参加極	役割※1	提供要素※2	
米国、ロシア	ISSの基礎となる要素を実現	米国	多目的実験棟、 <u>トラス構造物</u> 、 <u>連結部</u> 、 <u>太陽電池パネル</u> 等
		ロシア	<u>サービス棟</u> (居住機能等を提供)、 <u>ロシア実験棟</u> 等
日本、ESA	ISSの能力を著しく向上させる要素を実現	日本	日本実験棟(与圧部、曝露部(船外実験プラットフォーム)、2以上の補給部、エアロック、マニピュレータを含む)、システム及び利用者用の補給運搬容器(HTV)
		ESA	与圧実験室、システム及び利用者用の補給運搬容器、軌道調整推力を提供する軌道上移動機
カナダ	ISSの不可欠な一部をなすのに貢献	<u>ロボットアーム</u> 等	

※1 MOU第2条2項

※2 MOU第3条

※下線はISSの基礎となる要素:ISS運用・利用を可能にするための資源(電力、居住機能など)を提供する要素

# 5. 各極の役割分担(2/4)

## 【各極が提供するISSの構成要素】

